学力向上を図るための全体計画 平成28年度

- ○関係法規
 - 日本国憲法
 - 教育基本法
 - 学習指導要領
 - · 東京都 · 練馬区教育目標等

学校教育目標

- -ともに生きる-○かしこい子
- ○やさしい子
- ○たくましい子

- ○学校や地域の実態
 - ・地域の期待や願い
 - ・保護者の期待や願い
 - ・期待される児童像

各教科の指導の重点

(国語)

豊かな思考力や想像力、 感覚を養うとともに個に応じ た指導の充実を図る。

(社会)

地域社会への理解を深め、社 会の一員としての自覚を育て る問題解決的な学習の工夫を する。

(算数)

筋道を立てて考える能力を育 て、主体的に考える楽しさを 味わえるようにする。

(理科)

自然に親しみ、問題解決の能 力と自然を愛する心情を育て るとともに、科学的な見方や 考え方を養う。

(生活)

自然や身近な社会や人との関わりをもたせ生活について考 えさせ自立の基礎を育てる。 (音楽)

音楽を愛する心情と音楽に対 する感性を育てる。

(図工)

造形活動を通して、協力し 互いに高め合わせながら創造 活動の基礎的な能力を育て

(家庭)

日常生活に必要な基礎・基本 の力の定着を目指す。

(体育)

健康で安全な生活を送り、 力の向上や運動に親しむ資質 や能力を育てる。

総合的な学習の時間の 指導の重点

- ○自ら課題を見付け、自ら学 び、自ら考え、主体的に判断 し、よりよく問題を解決する 資質や能力を育てる
- ○学び方やものの考え方を身 に付け、問題の解決や探究 活動に主体的、創造的に取 り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができ るようにする。

指導内容・指導方法の工夫 教育課程編成上の工夫

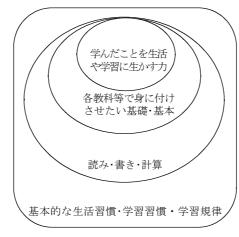
学校経営方針 (学力向上にかかわる要点)

「分かる喜びをだれもが味わえる授業」「学ぶことが 楽しい授業」を目指し、各教科・領域における基礎・基本 を明確にすると同時に、児童が自ら気付き、考え、解決 していく力を養う指導のあり方を、日々の授業や校内研 修等を通して計画的に追及していく。

開進第一小学校における確かな学力

開進第一小学校では学習指導要領に示された基礎・基本 を 重視し、次の力を育成する。

字ぶことが楽しい授業



確かな学力を身に付ける手だてとして、次のような 授業を推進する。

- ○全ての学習にわたって「分かる喜びをだれもが味わえる 授業」「学ぶことが楽しい授業」を目指す。
- ○知的欲求 (知りたい、やってみたい) の刺激
- ○授業観、指導観の転換
- ("教える教育"から"考え方を育てる教育"へ)
- ★「できる」「できない」を超えて充実感を感じ取れる 授業
- ★熱中し、生き生きと活動する場がある授業
- ★感動、疑問などを大事にする授業 (児童の思いから出発する授業)
- ★互いに関わり、認め合い、高め合う場がある授業 (一問一答ではない学習形態の工夫)
- ★体験を通して学べる授業
- (生活科、総合的な学習の時間を中心に実施する)
- ★読書活動の充実(週2回の読書タイム実施) ★基礎・基本を確実に身に付けさせる授業
- -(「読み」「書き」「計算」「話す聞く」の充実)

道徳教育の指導の重点

全教育活動を通して自己を 見つめ、共に学び合える心豊 かな児童の育成を図る。

- ○生命がかけがえのないもの であることを知り、自他の 生命を尊重する態度を育てる。
- ○人権に関わる問題を正しく 理解し、人権を尊重する態 度を養う
- ○道徳の時間の充実を図り、 学年の発達段階を踏まえた 道徳的実践力を高める。

特別活動の指導の重点

○児童相互の触れ合いを大切 にし、励ましあう温かい人 間関係を培う。

分か

る喜びをだれもが味わえる授業

- ○一人一人を大切にし、 自発 的に実践する意欲や態度を 養う
- ○学校行事や集会活動の在り 方を工夫し、児童が主体的 に活動できる場を設定する。

生活指導の指導の重点

- 児童一人一人が将来に対す る夢や希望をもち、その実 現に向け努力しようとする 態度を育成する。
- ○自らの個性を認め、集団生 活について理解を深め、規 範意識の高い心身共に健や かな児童の育成を目指す。

キャリア教育の指導の重点

- ○児童理解を深め、児童の個 性や能力の伸長を図る。
- ○自分の将来にわたる生き方 を考えさせ、主体的に進路 を選択できる能力を育てる
- ○望ましい勤労観・職業観を身 に付けることができるよう に各教科、総合的な学習の 時間および道徳等の指導内 容や方法の改善に努める。

本 校 の授業改 姜 に向けた 視点

道徳教育、言語活動を 通して学び続ける子供 の育成をする。 ・課題解決的・体験的な

- 活動を重視し、個々の 個性や能力を生かした 指導をする。
- ・発展的な学習・補充的な 学習の開発をする。
- 1、2年生の国語 と算数における
- TT指導. 3~5 年生の算数におけ る習熟度別指導を 行う。
- ・全学年特色ある教 育活動の継続・発 展をする。
- ・土曜授業の有効活 用をする。

校内における 研究や研修の工夫

・校内研究では、「算 個のよさや伸びの評 数指導の基礎基本」

- ~主体的な学びを 通して確かな学力 を身に付ける算数 の指導~を主題と して向上を図る。
- 授業実践を中心に 個々の指導力を高 める研修をする。

評価活動の工夫

- 価(画一的でかい評 価の物差しを用意) を行う。
- ・評価したら指導に生 かす評価活動のサイ クルを重視する。
- 学校評議員等、外部 指導を生かした改善 を行う。

家庭や地域社会 との連携の工夫

- ・年間8回の土曜学 校公開および2回 の保護者会前の授 業参観を実施す
- ・学校公開の保護者 の感想や関係者評 価などを授業改善 に活用する.
- 道徳授業地区公開 講座を実施する。

小中一貫教育 の視点

- ・年間2回、6年児童に よる中学校訪問を実施 する。
- ・中学校教諭への授業公 開と研究協議会の実施 を行う。
- ・9年間を見通した算数 「図形領域」と国語「自 分の意見、考えをもて る子」に育てるための カリキュラムに基づい た学習を実施する。